

# 第2回学校運営協議会だより

○日 時 平成30年12月4日(火)16:00～17:30

○会 場 荻野中学校 A棟3階ふれあいホール

○参加者 出席者10名 欠席者4名

※会議開催前の6校時の時間帯に、希望する委員（4名）に授業見学をしていただきました。

## ○概 要

### 1 会長挨拶

先程、授業参観をさせていただいた。どの学年の生徒も非常に落ち着いた態度で、真剣に授業に臨んでいた。その姿勢や態度に大変感心するとともに、先生方の日頃の熱心な指導にも感謝をしたい。

今回の運営協議会は2回目の会議となるが、様々なご意見、ご提案をお願いしたい。

### 2 学校長挨拶

今年は、全国各地で地震、台風、酷暑等の自然災害に見舞われた年であった。そのような中でも、2学期は生徒の活動も多く実施され、各行事や様々な活動場面等で大きな成長が感じられた学期となった。

1回目の会議に引き続き、今回も委員の皆さんの貴重なご意見等をいただき、学校のこれからの教育活動に生かしていきたい。

### 3 事務連絡

①「地区学力向上シンポジウム <1/21 (月)>」開催のお知らせと申込みについて

②第1回会議の議事録公表と「第1回学校運営協議会だより」のHP上への掲載について

③「厚木市コミュニティ・スクール フォーラム <10/29 (月)>」の資料配付について

④「コミュニティ・スクール」の具体的取組例について

## <議事>

### 1 学校評価について <佐藤 総括教諭>

#### ○保護者アンケートの集計結果についての説明

- ・「生徒に理解されやすい教師の丁寧な指導」に関しては、課題と感じている保護者がやや多い。
- ・生徒の「家庭学習の習慣と計画的な実施」「地域活動やボランティア活動への

積極的な参加」については、「努力を要する」と感じている保護者が、他の項目と比べて多い。

- ・「キャリア教育（職業選択や進路に関する指導）への学校の取組」に関しては、学年が上がるごとに理解を深めていただいている。
- ・他の項目については、概ね7～8割程度の割合で「良好」との評価をいただいている。

## ○ 質問、意見等

Q 1. 中学生の地域行事等への参加はどのような状況か。

A 1. 各地区、ほとんど参加は見られない。

先日行われた地域年末美化清掃においても、ほとんど中学生の参加は見られなかった。

学校でも、可能な範囲で部活動等の実施に配慮しているが、あまり成果は見られない様子である。

Q 2. 生徒の評価結果は、どのような状況か。

A 2. 生徒アンケートも行い、集計作業を進めているところであるが、今回の会議には公表できる状況まで進んでいない。来年度の教育課程編成時には、保護者、生徒の評価結果を踏まえながら様々な教育活動についての見直しを進めていきたい。

Q 3. 家庭学習の習慣が身につかないという課題には、どのような手立てが必要か。

A 3. 「やり方がわからない」「何をやってよいかわからない」という生徒も多いように感じている。

学校としても「週末課題」という名称で具体物の提供はしているが、与えられないと自主的な学習ができない生徒も増加している。家庭学習の行い方を伝えていく必要性も感じている。

本来、学習の仕方は自分で見つけ出すもの。小学校からの習慣も大切ではないだろうか。

## 2 次年度の教育課程編成に向けての各部の話し合い

### <学校充実部会>

#### ○「職場体験学習」の実施に向けて

毎年、2年生が2学期に実施している。

昨年度が約90事業所、今年度は約80事業所等にご協力をいただいた。ただし、学区内の事業所は1/3程度であるため、移動時間等に時間を費やし、体験時間が少なくなってしまうという課題もある。

そのため、地元の事業所、農家など、受入先を開拓することはできないか。

- ・行事の目的や日程、条件等を整理して明示し、最初は各委員のつながりから受入先を探していくことでスタートが切れるのではないかな。

#### ○「職業講話」の実施に向けて

毎年、1年生が2学期に実施している。

学校に8名程度の講師をお招きし、生徒に向けて「働くことの意義ややりがい」などについてお話をいただいている。

職場体験同様、地域の方で講師をしていただける方をご紹介いただくことはできないかな。

- ・職場体験学習同様、日程等を明示し、各委員のつながりから候補者を紹介していくことは可能ではないかな。
- ・次回の会議においても継続して話し合いを行っていく。

#### <地域協働部会>

学校では、地域のボランティア活動への積極的な参加を促しているが、地域との連携をさらに深めて、より効率的、効果的な取組ができないかな。

また、公民館等がセンター的に情報収集・情報発信を行うようなシステムの構築ができないかな。

- ・公民館が地域のボランティア活動のセンター的な役割を担うのは難しいが、地域福祉推進部会に「ボランティア部会」という組織があり、地域のボランティア活動に関する情報を多く持っているものと思われる。  
その部会と学校、もしくは学校運営協議会がつながることが地域との連携を深める糸口になるのではないかな。  
次回までに連絡を取り合い、状況を確認しておくことが必要である。  
場合によっては、学校運営協議会の場に代表者を招いて直接話し合いを行うことも考えていきたい。
- ・地域のボランティア活動の情報（実施時期、内容、団体、代表者名、連絡先、人数 等）をリスト化し、学校とボランティア部会で情報を共有していくことで、双方にとって活動の充実が図られるのではないかな。

### 3 その他

○成人年齢の引き下げに関する法律改正に伴い、今後は青少年を守るための教育が必要となる。

18歳の若者が、保護者の承諾なく、本人の意思のみで取り扱える物事が想像

以上に増えるため、ターゲットとされ、騙される事件が急増することが懸念される。

現段階では、学校教育において具体的な取組は示されていないが、今後、早急に取り組んでいかなければならない課題であると考えている。



○ 次回の会議予定

第3回 2月26日(火) 全体会 18時00分～ 荻野中学校ふれあいホール

- 1年間の反省 来年度に向けて 学校経営方針の承認等
- 次年度の教育課程編成に向けての各部の話し合い